

行方不明者の捜索や 大空町との交流は!?

片山 裕 治 議員



氷川町消防団の 捜索活動は?

議員 氷川町におきま

しでは、行方不明者捜索に
関する要綱は作成されて
いませんが、「氷川町行
方不明者捜索に関する要
綱」の作成を検討された
らどうでしょうか。

総務課長

氷川町では行
方不明者の捜索に関しま
しては、具体的な取扱い
を規定いたします要綱等
は定めておりません。

捜索依頼がありました
ときに、その都度関係者
が集まりまして、対策を
立てているところでござ
います。

議員 捜索活動において

認知症の方の 一人歩きの対策は?

また、町内の一人暮らし
しと認知症の方は把握さ
れていると思いますが、

その方々への、指導・対
策は考えられているのか。
健康福祉課長 対応策と

の消防団の報酬が一人当
たり1日900円だそう
ですが、1日中の捜索活
動、夜の捜索活動におい
て、食事の提供などの何
らかの形でできないのか。
総務課長 消防活動の任
務中ということで、その
捜索の実施方法によりま
して、必要な場合は準備
するという形で対応いた
します。

議員 今年に入り防災備

蓄倉庫ができ、備品また
はこれから食料等の備蓄
も始まります。その食料
等の配布なんかも考えて
いただきたいと思います。

いうことだと思いますけ
れども、氷川町では認知
症について理解し、認知
症の人やその家族を温か
く見守り支援する人づく
りを目的に、認知症サ
ポーター講座を行ってお
ります。

認知症になった人や家
族の気持ちを理解するよ
うに努め、またその知識
を広めていただくように
しております。

これまで養成講座開催
回数30回を数えてあり
ます。1,143名の方
にサポーターとなってい
ただいております。認知
症サポーターには認知症
の人を支援しますという
意志を示す目印のオレン
ジリングというのを配布
して普及に努めていた
いております。

今後の取り組みとしま
して、小中学校でのサ
ポーター養成講座やサ
ポーター養成の講師役と
なるキャラバンメイト養
成研修の開催、あと広報
誌等での認知症の正しい
理解のための普及啓発に
取り組んでいきたいと考
えております。

友好町との交流は?

議員 氷川町との大空町

の間での交流事業は、学
校教育、生涯学習、食・
物産の販売、防災に係る
交流が今現在行われてい
ますが、行政管理におい
ての人事交流は、現在行
われていませんので、一
つ提案させていただきます
です。例えば、3力年ぐら
いをめぐりに、1年間の期
間で3力月を区切りとし
た年間4名程度の氷川町
の職員と大空町の職員の
人事交流を実施してはど
うでしょうか。検討でき
るのかお尋ねします。

総務振興課長 現在は、
それぞれの町で合併後の
業務多忙の中、相互交流
を行うことの難しさも
あって行ってきてはあり
ませんが、期間を定めた
定期的な人事交流は、内
容を検討すべき面も多々
ありますので、実施の是
非も含めて、今後の検討
とさせていただきますと

思っております。

町長

直接職員が行きま
してそれぞれの行政の実
務に携わるというのも一
つの方法でございませよ
うが、やはり日々の事務
に追われまして、なか
か時間が取れないという
現実もございます。そう
いった中で、相互交流と
いうのが、どこまででき
るのかというのも含めま
して、今後しっかりと検
討してまいりたいとい
うふうに思っております。

